

NEWS LETTER

横浜災害ボランティアネットワーク会議



編集・発行：横浜災害ボランティアネットワーク会議

〒231-8454 横浜市中区住吉町4-42-1

横浜市青少年育成センター

TEL 045-662-4170 FAX 045-662-7645

ホームページ／<http://www.yokohama-saigai-vol-net.jp/>

2008年1月発行 No.36

「子どもたちの防災活動展—街を災害から守る 小学生・中学生の防災活動展—」開催される

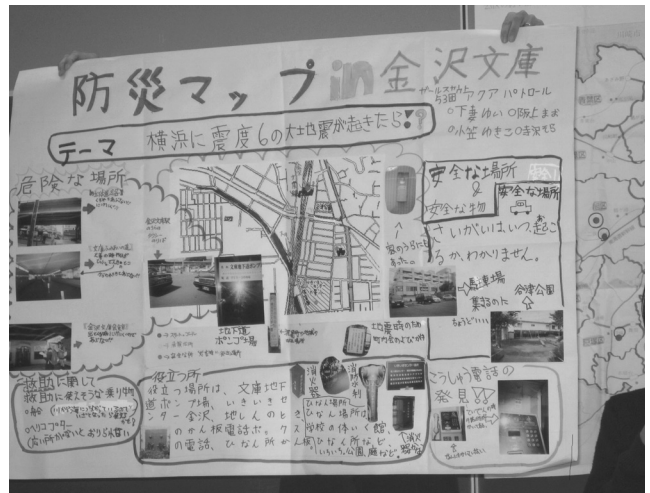
横浜災害ボランティアネットワーク会議と横浜市民民力推進局と共催で、2008年1月15日から25日の11日間、横浜市役所1階で市内の小・中学生の防災活動展示を行います。この事業は、災害マップの作成や街歩きなどに取り組んでいる青少年を紹介することで、青少年の災害救援に対する興味や関心を高めるため、横浜災害ボランティアネットワーク会議が横浜市民民力推進局と協働で行うものです。

前号No.35でもご紹介しましたように、ガールスカウト横浜市連絡協議会では、「ぼうさいマップ作り」（こどもの目で見えたマップ作り）を毎年、小学生のスカウトを中心に行っています。

また、保土ヶ谷区では、日中の災害発生時に防災活動に従事する人が確保できないという課題から、事前研修・訓練を終了した中学生が地域防災拠点で自分たちにできる作業のお手伝いをすることにより、地域に貢献し、地域と学校の連携をすすめるため、「がやっこレスキュー隊」を今年の4月から発足させています。（「がやっこ」とは元気な保土ヶ谷区の子どもの愛称です。）

今年度は、橋中学校、西谷中学校、保土ヶ谷中学校、宮田中学校の区内4校の中学生を対象に、心肺蘇生法やAEDなどの応急手当、地震のしくみ、救出と搬送、避難支援の方法などの研修を実施し、学校によっては生徒たちが地域防災拠点の訓練に参加しています。平成19年度には、193人の中学生がこれらの研修に参加しました。研修を終了した中学生には、「がやっこレスキュー隊研修終了証」と活動時に着けるスカーフ「オレンジ色の三角巾」が交付されます。

他にも、都筑区や鶴見区での子どもたちの防災活動に関する展示を予定しています。ぜひ、こどもたちの防災への取組みに触れてみてください。



ガールスカウトが作成した防災マップ

「子どもたちの防災活動展—街を災害から守る 小学生・中学生の防災活動展—」

- ◆展示期間：2008年1月15日（火）～25日（金） 8時30分～17時
- ◆会場：横浜市庁舎1階 市民広間（JR、市営地下鉄「関内駅」下車）
- ◆入場料：無 料

インフォメーション

鶴見区で「災害ボランティア訓練」を開催

—鶴見区災害ボランティアネットワーク—

区役所との協働で、災害ボランティアの訓練を行います。

当日は区民ホールを災害ボランティアセンターとし、被災者から寄せられた依頼をもとに、全国から駆けつけたボランティアを派遣する訓練を行います。主な活動は次の2つです。

- ◆全国から駆けつけたボランティア役として、センターに寄せられた依頼の中から活動を選択し、派遣される（訓練なので実際の活動は行いません）

- ◆ボランティアセンターの運営スタッフとして、ボランティアの受付や送り出しなどを行う。

スタッフ役としてご協力いただける場合は、鶴見区社会福祉協議会までご連絡ください。

日 時：2008年1月17日（木）7：00～8：30

場 所：鶴見区役所1階 区民ホール

お問合わせ：鶴見区社会福祉協議会 電話045-504-5619



昨年度の訓練風景

磯子区災害ボランティアネットワークの近況

磯子区災害ボランティアネットワークは平成18年8月創設以来、毎月定例会を開催し「災ボラ」活動の検討を行っています。具体的な活動内容では、「活動に必要な書式」の作成・「防災拠点へのルートマップ」づくり・「災ボラセンターの活動」の検討・「災ボラ紹介・災ボラ募集のチラシ」づくり等の分科会を結成して検討・製作し成果をもとに、救援ボランティアの受付・登録・派遣募集・送り出し等の訓練を行って来ました。

10月15日には災害時に「ボランティアセンター」に予定されている磯子図書館で初めて「センター立ち上げ」のシミュレーションを行いました。

訓練開始時に受付周辺が災害時を思わせる混乱が見られましたが、これを契機に「行動マニュアル」作成の必要性が浮上しています。

来年1月に実施される地域防災拠点の防災訓練には「防災ライセンス・磯子」「アマチュア無線」と共に「災ボラ」の参加が求められ、4～5拠点で「ニーズ」の伝達訓練・広報活動を行うことを検討しています。

(磯子区災害ボランティアネットワーク 代表 大竹比呂志)



シミュレーションの様子

災害時用コミュニケーションボード完成！

市内14の障害者団体等で構成される『セイフティーネットプロジェクト横浜』では、障害のある人が安心して地域で暮らせるよう、「災害時用コミュニケーションボード」を作成しました。このボードには、障害のある人が避難生活に必要な情報をやり取りする絵記号等が掲載され、避難場所の方々にお願いしたいことをまとめた「チラシ」と一緒に、市内の避難場所やボランティアの方、障害者団体等へ配布する予定です。また、支援してほしい人は「黄色」、支援できる人は「緑色」のバンダナやハンカチを各自でご用意いただき、災害時に身につけようという取り組みを進めています。みなさまのご理解とご協力をお願いします。

入手方法：1月下旬より横浜市ボランティアセンター

(電話045-201-8620)・各区社会福祉協議会にて配布予定。

事務局：横浜市社会福祉協議会 障害者支援センター

電話045-471-0556 Fax045-471-0559



災害ボランティアコーディネーター養成講座 中級編

—神奈川災害ボランティアネットワーク—

災害時に求められるコーディネーターの役割について、新潟県中越地震のボランティアセンターの運営を事例に、ボランティアニーズの受付や記録法などについて学習します。

- 講 師 新潟県十日町市社会福祉協議会 長野 和明氏 ほか
- 日 時 2008年3月1日(土) 2日(日) 9:30～16:00
- 対 象 2日間出席でき災害時においてコーディネーターとして活動する意志のある方 30名
(中級編ですので、すでに初級程度の講習を受講されている方を対象とします)
- 会 場 未 定
- 参加費 1,000円
- 申込み 住所・氏名・TEL・FAX・所属団体を明記のうえ、FAX・メールで申込み。
- お問合せ・申込み 神奈川県青少年協会 電話045-402-0346 FAX045-402-0362
- 主 催 神奈川災害ボランティアネットワーク、横浜災害ボランティアネットワーク会議
- 協 力 社会福祉法人神奈川県共同募金会

2007年度 災害ボランティア・コーディネーター講習会(初級編)

—横浜災害ボランティアネットワーク会議—

No.35のニュースレターでもご案内しましたが、災害時に求められるコーディネーターの役割、新潟県中越沖地震の現地報告、ボランティアの受付から派遣までの体験ワークショップなど、基礎的な考えやスキルを学ぶ、「災害ボランティア・コーディネーター講習会」を実施します。

- 講 師 横浜災害ボランティアネットワーク代表 吉村恭二氏 ほか運営委員
- 日 時 2008年1月20日(日) 9:30～16:30
- 対 象 災害時のボランティア・コーディネーターに興味・関心のある方 30人
- 会 場 横浜市青少年育成センター(関内ホール地下2階)第1研修室
- 参加費 500円
- 申込み 住所・氏名・TEL・FAX・所属団体を明記のうえ、FAX・メールで申込み。先着順
- お問合せ、申込み 横浜市ボランティアセンター 電話045-201-8620 FAX045-201-1620
メール yvc@yokohamashakyo.jp

■ 会費納入のお願い！

横浜災害ボランティアネットワーク会議の様々な活動は、会員の皆様の会費で賄われています。会員として年会費の納入にご協力ください。

以下は2007年度会費納入済み団体・個人です。 ※順不同・敬称略
おっさんネットワーク鶴見 <りんくらん



運営団体

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 学校法人岩崎学園 | 神奈川県生活協同組合連合会 |
| 金沢区災害ボランティアネットワーク | ガールスカウト横浜市連絡協議会 |
| 港北区災害ボランティア連絡会 | 鶴見区災害ボランティアネットワーク |
| 財団法人横浜市国際交流協会 | 社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 |
| 社団法人横浜市身体障害者団体連合会 | 財団法人横浜YMCA |
| 財団法人横浜市青少年育成協会(事務局) | |